

# 平成27年度当初予算の概要

3月10日から同月17日まで会期8日間で開いた平成27年第1回町議会定例会で27年度東川町予算案が可決され、一般会計など3つの会計案が可決、執行されることとなりました。今年は町長改選期に伴って町長選挙の年となったため、新年度当初予算は政策的予算を除く骨格予算の編成となりました。予算概要は次のとおりです。

## ■一般会計・特別会計当初予算額

(単位:千円)

会計区分	本年度	前年度	伸び率%
一般会計	5,912,000	6,601,000	▲ 10.44
公共下水道事業	192,200	170,900	12.46
国保町立診療所	359,800	343,900	4.62
特別会計(合計)	552,000	514,800	7.23
総合計	6,464,000	7,115,800	▲ 9.16

一般会計は59億1200万円で前年度当初予算と比較して6億8,900万円、10.4%減、特別会計総額では5億5,200万円で年度当初予算の比較で3,720万円、7.2%増となりました。一般会計、特別会計の合計では64億6,400万円(前年度当初予算比較6億5,180万円、9.2%減)となりました。

- 一般会計 税金などを主な収入とする町の基本的な事業予算
- 特別会計 下水道等の使用料など、特定の収入で行う事業予算

## ■一般会計予算の特徴

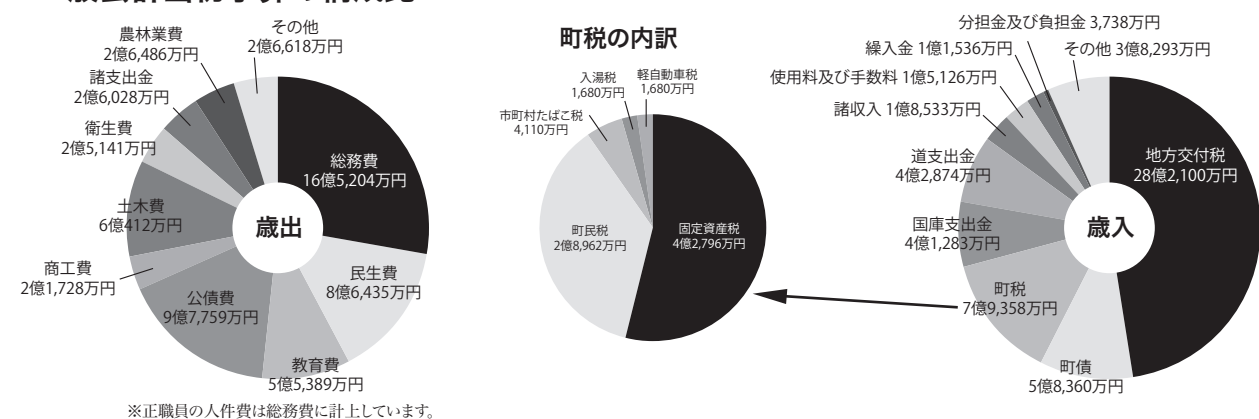
町長選挙の年であるため、年度当初予算は骨格編成になっています。一般会計は59億1,200万円であり、前年度の予算額と比べますと6億8,900万円、10.4%減となりました。「新まちづくり計画プライムタウン21-II」の3年度目にあたり、実施計画に沿った事業の展開を図ることとし、毎年度に行う5カ年間の財政推計により適正な運営に努めているところです。

地方交付税は、地方財政計画で0.1兆円の減額、0.8%の減となりますが、本町における普通交付税の予算額は、辺地対策事業債や緊急防災減災事業債の有利な起債に伴う補てん額があるため、前年度決定額と比較すると約1億8,400万円、8.4%の増を見込んでいます。

投資的事業では、東川小学校関連整備事業など大型のハード整備事業の終了に伴い対前年比で12億7,385万円、68.1%の減となりました。国、道補助金や新たに27年度から計画が認定となる「東川辺地」地区の辺地対策事業債を充当するなど特定財源の確保に努めました。

ソフト事業では、写真の町国際化推進事業、観光立国事業、留学生支援事業、行政区等地域活動推進事業、地域おこし協力隊事業等、特別交付税の対象となる事業の充実を図ることに重点をおいた事業費を計上しています。

## ■一般会計当初予算の構成比



## ■27年度の主な投資事業

【投資的事業】 (単位:千円)

- 橋りょう長寿命化修繕事業 63,000 (社会資本整備交付金)
- 西5号道路改良事業 70,300 (社会資本整備交付金)
- 西3号道路改良事業 10,000 (社会資本整備交付金)
- 除雪ダンプ(7トン級ほか)購入事業 32,470 (社会資本整備交付金)
- 南町1丁目雨水排水調整施設整備事業 35,200 (社会資本整備交付金)
- 上岐登牛道路改良事業 73,000 (辺地債事業)
- 第2地区コミュニティーセンター改修事業 13,958 (辺地債事業)
- 阿波団体道路改良事業 80,000 (辺地債事業)
- 第32、第33両区飲料水供給施設整備事業 4,100 (辺地債事業)
- 天人峡地区引き湯施設整備事業 50,000 (辺地債事業)
- 南町1丁目団地整備事業 22,200 (社会資本整備交付金、公営住宅債事業)